2024年度入社式、新人研修を行いました

2024年4月に、総勢44名の職員を迎えることができました。4月1日は、入社式が行われ、職員代表の歓迎挨拶、新入職員代表による挨拶、理事長及び病院長の挨拶と続き、最後は、幹部職員及び新入職員で記念撮影を行いました。

新人研修については、4月1日から4月2日にかけて実施しました。当院では、医師、看護師をはじめ多くの職種の人たちが働いています。これら多くの職種の人たちが互いに連携することで、はじめて安心で安全な医療を行うことができます。そこで、新人研修では、まず、福田病院にどんな職種があり、そこではどんな業務を担当しており、自分の仕事とどんな関わりがあるのかについて理解を深めてもらいます。また、職場紹介だけでなく、医療安全や感染対策、救急医療についての研修も行います。職場紹介では、職場長等から、業務の内容や連携するにあたっての注意点等を簡潔に説明してもらいました。医療安全や感染対策、救急医療では、担当職員から重要なポイントについて説明を行いました。研修終了後は、各職場単位で研修を行っていきます。一日も早く、職場や仕事に慣れて、福田病院の職員として力を発揮してもらえればと思います。

３月３日は「ひな祭り」でした

ひな祭りは、お子様の幸せと健やかな成長を願ってお祝いする日です。

旧暦の3月3日は、桃の花が咲く季節にあたるため「桃の節句」とも呼ばれます。

福田病院レストラン「四季亭」では、桃の節句にちなんで《桃の節句膳》をご用意致しました。

お料理は、「はまぐりと春野菜の酒蒸し」や「帆立と桜鯛のパイ包み焼き」、甘味に「菱餅風パンナコッタと和菓子、フルーツなどの五点盛り」など春の食材をふんだんに使ったお食事をお召し上がり頂きました。

竹灯りに照らされたお内裏様とお雛様と共に、和やかな時間を過ごされました。

個人情報の利用について　当院がコアラジャーナル郵送のためにお預りしている氏名、住所等の個人情報は、コアラジャーナルの郵送の他、当院で開催する行事のご案内や重要なお知らせ等を送付する目的で利用させていただきます。それ以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、あらためてご本人の同意をいただきますので、ご了承ください。

住所が変更になられた方は、福田病院までご連絡下さい。

コアラジャーナル編集部

コアラ ジャーナル
KOALA JOURNAL

発行所　熊本市中央区新町2丁目2-6
〒860-0004 電話（096）322-2995
http://www.fukuda-hp.or.jp
info@fukuda-hp.or.jp
愛育会　福田病院
購読料　一部 30円　年間300円
第466号　毎月１回　１日発行

赤ちゃんを迎える準備

助産師　主任　**日田　彩**

桜の季節が終わり、若葉が目にも鮮やかになり始め、すでに夏の気配すら感じられるこの頃いかがお過ごしでしょうか。

私は入職して18年目を迎え、これまでたくさんの妊娠中、分娩中、産後のお母さんや赤ちゃんとご家族に関わらせていただきました。また、多くの先輩や後輩、ともに悩んだり励まし合った同期や同僚、他部門の職員や家族に友人など、本当にたくさんの方との出会いに恵まれ、支えられ、教えをいただいて今日の私があると感じる日々です。

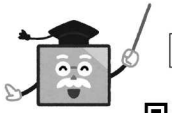
その中で私自身も結婚し、妊娠・出産・子育てを経験し、その経験もまた助産師としての私にも活きています。

実際に経験してみると、ひとつひとつのことに戸惑ったり悩んだり、母親としての想いも学ぶ機会となりました。特に産後はこれまで1ヶ月健診までの赤ちゃんとは触れ合う機会が多くありましたが、その後の赤ちゃんと接する機会はあまりなかったので、大学で学んだり、書籍やテキストで学んだだけで、戸惑うことも多くありました。助産師として、母親として、出来る限り自分でやりたい。自分で頑張らないとという想いから、どこからどこまで人に頼っていいのか分からず、余裕が無くなりせっかくの子どもとの時間を楽しめないことも多々ありました。そして、子どもの発達や離乳食の進み具合など、学んだこととずれると不安になったり落ち込んだり。今では、周りの人にもずいぶん甘えられるようになり、助けてもらい、教えてもらいながらまわりの人とともに子育てをすることを知りました。そうすることで、私だけでなく、子どもや家族がより幸せに生活できると実感しましたが、それまではずいぶん立ち止まり、壁にぶつかりました。

妊娠中、子どもが生まれた後の生活に思いを巡らせ、楽しみにしていましたが、具体的な生活が想像出来ていなかったんだと思います。

最近では、アフターバースプランというものが注目されています。どのようなものかというと、妊娠中にまず「自分を知る」ことで今の悩みや、どんな子育てがしたいか・子どもにどんなふうに育って欲しいと思っているかと向き合い、悩んだ時に立ち戻る場所を作る。慣れない子育て中でも日常の中で自分を満たせるように心地いいことを探す。産後の身体や心はどうなるのか、赤ちゃんやご家族との生活リズムを具体的にイメージして、どんなお世話や家事がどれくらいの頻度であるのかピックアップする。何をどこまでご家族や時には社会公的サービスに頼るのか、自分自身はどの部分を担いたいのか、家族とともに具体的に役割分担を決めておく、というものです。

産後にお母さんが1人で子育てを抱え込んで「孤育て」をすることにならないように、子育てをみんなで協力して楽しめるように、皆さんにお伝え出来るよう病院でも準備をしているところです。ぜひ試してみてください。



ホームページ　LINE　インスタグラム　facebook

母親学級（各教室等）、マタニティスポーツやよちよちサークルの開催については下記へお問合せください。

●母親学級（各教室等）のお問合せ●

＜ゆうかり倶楽部＞　【受付時間】9：00～17：00（日祝除く）
【ゆうかり倶楽部直通番号】TEL：096－322－5116

KUMAMOTO SDGs
©2010熊本県くまモン